

国際広報メディア・観光学院 国際広報メディア・観光学専攻 アセスメント・チェックリスト

国際広報メディア・観光学院国際広報メディア・観光学専攻の学位授与水準(DP)

DP1	デジタル化やサイバー化が進展する情報環境に対応した、新たな広報実践とメディア活用を開発・推進できる能力
DP2	国際化と多層化が進む言語・文化環境において、新たなコミュニケーションの形をデザインし、越境的な交流や協働に貢献できる能力
DP3	デスティネーション分析とメディア対応に関わる知識やスキルを、地域経営の現場で応用できる能力
DP4	観光によるまちづくりを推進するために、自治体、企業、地域住民などの諸アクターの協働を図り、情報メディアを活用して広報できる能力
DP5	
DP6	

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	7月、1月	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・カリキュラムの満足度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を教員に開示すると共に教務委員会で議論し、教員に教育方法改善の指針を与える。	国際広報メディア・観光学院
2	成績評価	4月、9月	毎年	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・成績の点検	履修指導時に点検する	国際広報メディア・観光学院学生指導関係教員	成績をもとに履修指導を行う。	国際広報メディア・観光学院
3	大学院生調査	随時	1年に1回	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革の参考とする。	総合IR室
4	修了時調査	2~3月	毎年	(修士)2年生 (博士)3年生	・カリキュラム、研究指導の満足度、獲得した能力等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	国際広報メディア・観光学院
5	修了生調査	9月	毎年	修了後2,5,10年目の修了生	・大学院教育の有用性と現在の状況	質問紙	修了生	教職員に開示してカリキュラム改革の参考とする。	国際広報メディア・観光学院
6	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
7	DPによるカリキュラム点検	随時	3年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング、カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	教務委員会	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	国際広報メディア・観光学院